

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【公表番号】特表2004-518425(P2004-518425A)

【公表日】平成16年6月24日(2004.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2004-024

【出願番号】特願2002-552961(P2002-552961)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)
 A 6 1 K 31/7088 (2006.01)
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 A 6 1 K 48/00 (2006.01)
 A 6 1 P 25/28 (2006.01)
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)
 C 0 7 K 14/475 (2006.01)
 C 0 7 K 16/22 (2006.01)
 C 1 2 M 1/00 (2006.01)
 C 1 2 M 1/34 (2006.01)
 C 1 2 N 1/15 (2006.01)
 C 1 2 N 1/19 (2006.01)
 C 1 2 N 1/21 (2006.01)
 C 1 2 P 21/02 (2006.01)
 C 1 2 Q 1/02 (2006.01)
 C 1 2 Q 1/68 (2006.01)
 G 0 1 N 33/15 (2006.01)
 G 0 1 N 33/50 (2006.01)
 G 0 1 N 33/53 (2006.01)
 G 0 1 N 33/566 (2006.01)
 G 0 1 N 37/00 (2006.01)
 C 1 2 N 5/10 (2006.01)
 A 6 1 K 38/00 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A
 A 6 1 K 31/7088
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 K 48/00
 A 6 1 P 25/28
 A 6 1 P 35/00
 C 0 7 K 14/475
 C 0 7 K 16/22
 C 1 2 M 1/00 A
 C 1 2 M 1/34 Z
 C 1 2 N 1/15
 C 1 2 N 1/19
 C 1 2 N 1/21
 C 1 2 P 21/02 H
 C 1 2 Q 1/02
 C 1 2 Q 1/68 A
 G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/53	M
G 0 1 N	33/566	
G 0 1 N	37/00	1 0 2
C 1 2 N	5/00	A
C 1 2 N	15/00	F
A 6 1 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月5日(2008.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

幹細胞成長因子の活性を有するポリペプチドをコードする単離されたポリヌクレオチドであって、配列番号27、29、33、37、もしくは39、それらの翻訳されるタンパク質をコードする部分、それらの成熟タンパク質をコードする部分、それらの細胞外部分、またはそれらの活性ドメインからなる群から選択されるヌクレオチド配列を含むポリヌクレオチド。

【請求項2】

生物活性を有するポリペプチドをコードする単離されたポリヌクレオチドであって、ストリンジентなハイブリダイゼーション条件下で請求項1に記載のポリヌクレオチドの相補体にハイブリダイズするポリヌクレオチド。

【請求項3】

生物活性を有するポリペプチドをコードする単離されたポリヌクレオチドであって、請求項1に記載のポリヌクレオチドと90%を超える配列同一性を有するポリヌクレオチド。

【請求項4】

DNA配列である、請求項1に記載のポリヌクレオチド。

【請求項5】

請求項1に記載のポリヌクレオチドの相補体を含む単離されたポリヌクレオチド。

【請求項6】

請求項1に記載のポリヌクレオチドを含むベクター。

【請求項7】

請求項1に記載のポリヌクレオチドを含む発現ベクター。

【請求項8】

請求項1に記載のポリヌクレオチドを発現するように遺伝子操作した宿主細胞。

【請求項9】

前記ポリヌクレオチドは、前記宿主細胞において前記ポリヌクレオチドの発現を制御する調節配列と作動可能に結合している、請求項8に記載の宿主細胞。

【請求項10】

配列番号28、30、31、32、34、38、40、それらの翻訳されるタンパク質部分、それらの成熟タンパク質部分、それらの細胞外部分、およびそれらの活性ドメインからなる群から選択されるアミノ酸配列に少なくとも80%同一であるアミノ酸配列を含む単離されたポリペプチド。

【請求項11】

請求項10に記載のポリペプチド、およびキャリアを含む組成物。

【請求項 1 2】

配列番号 2 8、3 0、3 1、3 2、3 4、3 8、および 4 0 からなる群から選択されるポリペプチド配列由来の少なくとも 1 0 個の連続したアミノ酸を含む、幹細胞成長因子様活性を有するポリペプチド。

【請求項 1 3】

配列番号 2 8、3 0、3 1、3 2、3 4、3 8、および 4 0 からなる群から選択されるポリペプチド配列由来の少なくとも 5 個の連続したアミノ酸を含む、請求項 1 2 に記載のポリペプチド。

【請求項 1 4】

請求項 1 2 に記載のポリペプチドをコードするポリヌクレオチド。

【請求項 1 5】

請求項 1 3 に記載するポリペプチドをコードするポリヌクレオチド。

【請求項 1 6】

請求項 1 0 に記載するポリペプチドをコードするポリヌクレオチド。

【請求項 1 7】

請求項 1 0 に記載のポリペプチドに特異的な抗体。

【請求項 1 8】

試料中の、請求項 1 に記載のポリヌクレオチドを検出する方法であって：

- a) 該試料を、請求項 1 に記載のポリヌクレオチドに結合して、該ポリヌクレオチドとの複合体を形成する化合物と、該複合体を形成するのに十分な期間接触させ、
 - b) 該複合体を検出し、該複合体が検出される場合、請求項 1 に記載のポリヌクレオチドが検出されること
- を含む方法。

【請求項 1 9】

試料中の、請求項 1 に記載のポリヌクレオチドを検出する方法であって：

- a) 該試料を、ストリンジェントなハイブリダイゼーション条件下で、請求項 1 に記載のポリヌクレオチドにアニーリングする核酸プライマーと、かかる条件下で接触させ、
 - b) 請求項 1 に記載のポリヌクレオチドの少なくとも一部を含む産物を増幅し、そして
 - c) 前記産物を検出することによって該試料中の請求項 1 に記載のポリヌクレオチドを検出すること
- を含む方法。

【請求項 2 0】

前記ポリヌクレオチドは、RNA 分子を含み、前記方法はアニーリングされた RNA 分子を、cDNA ポリヌクレオチドへ逆転写することをさらに含む、請求項 1 9 に記載の方法。

【請求項 2 1】

試料中の、請求項 1 0 に記載のポリペプチドを検出する方法であって：

- a) 該試料を、前記ポリペプチドに結合して、該ポリペプチドとの複合体を形成する化合物と、該複合体を形成するのに十分な条件下で、そして十分な期間接触させ、そして
 - b) 該複合体の構造を検出し、該複合体の構造が検出される場合、請求項 1 0 に記載のポリペプチドが検出されること
- を含む方法。

【請求項 2 2】

請求項 1 0 に記載のポリペプチドに結合する化合物を特定する方法であって：

- a) 該化合物を、請求項 1 0 に記載のポリペプチドと、ポリペプチド/化合物複合体を形成するのに十分な条件下で、そして十分な期間接触させ、そして
 - b) 該複合体を検出し、該複合体が検出される場合、請求項 1 0 に記載のポリペプチドに結合する化合物が特定されること
- を含む方法。

【請求項 2 3】

請求項 10 に記載のポリペプチドに結合する化合物を特定する方法であって：

- a) 細胞において、該化合物を、請求項 10 に記載のポリペプチドと、ポリペプチド/化合物複合体を形成するのに十分な期間接触させ（ここで、該複合体は、細胞においてレポーター遺伝子の発現を駆動する）、そして
- b) レポーター遺伝子配列の発現を検出することにより該複合体を検出し、該複合体が検出される場合、請求項 10 に記載のポリペプチドに結合する化合物が特定されることを含む方法。

【請求項 24】

幹細胞成長因子様ポリペプチドを生産する方法であって：

- a) 請求項 8 に記載の宿主細胞を、前記細胞において該ポリペプチドを発現するのに十分な条件下で培養し、そして
- b) 工程 (a) の細胞培養物または細胞から、該ポリペプチドを単離することを含む方法。

【請求項 25】

請求項 10 に記載のポリペプチドを含むキット。

【請求項 26】

請求項 1 に記載のポリヌクレオチド、または請求項 1 に記載のポリヌクレオチドの特有のセグメントを含む核酸を表面に結合させたアレイ。

【請求項 27】

前記アレイは、請求項 1 に記載のポリヌクレオチド、または請求項 1 に記載のポリヌクレオチドの特有のセグメントに対する完全なマッチを検出する、請求項 26 に記載のアレイ。

【請求項 28】

前記アレイは、請求項 1 に記載のポリヌクレオチド、または該ポリヌクレオチドの特有のセグメントに対するミスマッチを検出する、請求項 26 に記載のアレイ。

【請求項 29】

請求項 10 に記載の幹細胞成長因子様ポリペプチドの活性または発現を増大するための組成物であって：

- (a) 治療的量の、前記ポリペプチドのアゴニスト、
 - (b) 治療的量の、前記ポリペプチド、および
 - (c) 治療的量の、該ポリペプチドが生産される形態かつ条件下にある前記ポリペプチドをコードするポリヌクレオチド
- からなる群から選択される物質、ならびに薬学的に許容可能なキャリアを含む組成物。

【請求項 30】

請求項 10 に記載の幹細胞成長因子様ポリペプチドの活性または発現を阻害するための組成物であって：

- (d) 治療的量の、前記ポリペプチドのアンタゴニスト、
 - (e) 治療的量の、前記ポリペプチドをコードするヌクレオチド配列の発現を阻害するポリヌクレオチド、および
 - (f) 治療的量の、該幹細胞成長因子様ポリペプチドと、そのリガンドに関して競合するポリペプチド
- からなる群から選択される物質、ならびに薬学的に許容可能なキャリアを含む組成物。

【請求項 31】

配列番号 28, 30, 31, 32, 34, 38、または 40 のアミノ酸配列を有するポリペプチドに特異的に結合する、請求項 17 に記載の抗体。

【請求項 32】

ポリクローナル抗体、モノクローナル抗体、ヒト化抗体、抗体断片、単鎖抗体、二重特異性抗体、または異種結合抗体である、請求項 17 に記載の抗体。

【請求項 33】

請求項 17 に記載の抗体を含むキット。

【請求項 3 4】

幹細胞成長因子様活性を有するポリペプチドをコードするポリヌクレオチドがトランスフェクトされた間質細胞を含む支持細胞層上で幹細胞集団を培養することを含む方法であって、

前記ポリペプチドは、配列番号 2 8、3 0、3 1、3 2、3 4、3 8 および 4 0 からなる群から選択されるポリペプチド配列と少なくとも 9 0 % 同一である、

幹細胞集団の生存および増殖を増大するための方法。

【請求項 3 5】

幹細胞成長因子様活性を有するポリペプチドが添加された培養液中で幹細胞集団を培養することを含む方法であって、

前記ポリペプチドは、配列番号 2 8、3 0、3 1、3 2、3 4、3 8 および 4 0 からなる群から選択されるポリペプチド配列と少なくとも 9 0 % 同一である、

幹細胞集団の生存および増殖を増大するための方法。

【請求項 3 6】

前記幹細胞集団が、他の成長因子および/またはサイトカインをさらに含む培養条件下で培養される、請求項 3 4 または 3 5 に記載の方法。

【請求項 3 7】

請求項 3 4 ~ 3 6 のいずれか一項に記載の方法により得られる、生存および増殖が増大している幹細胞集団。